



第二号

倭文庫三編

~ 13
3749
2



門 13
號 3749
卷

午之 春新版

豊國只
園唐也

錦重堂
上梓

應賀作

豊國画

上冊

倭文庫三編

釋迦八相

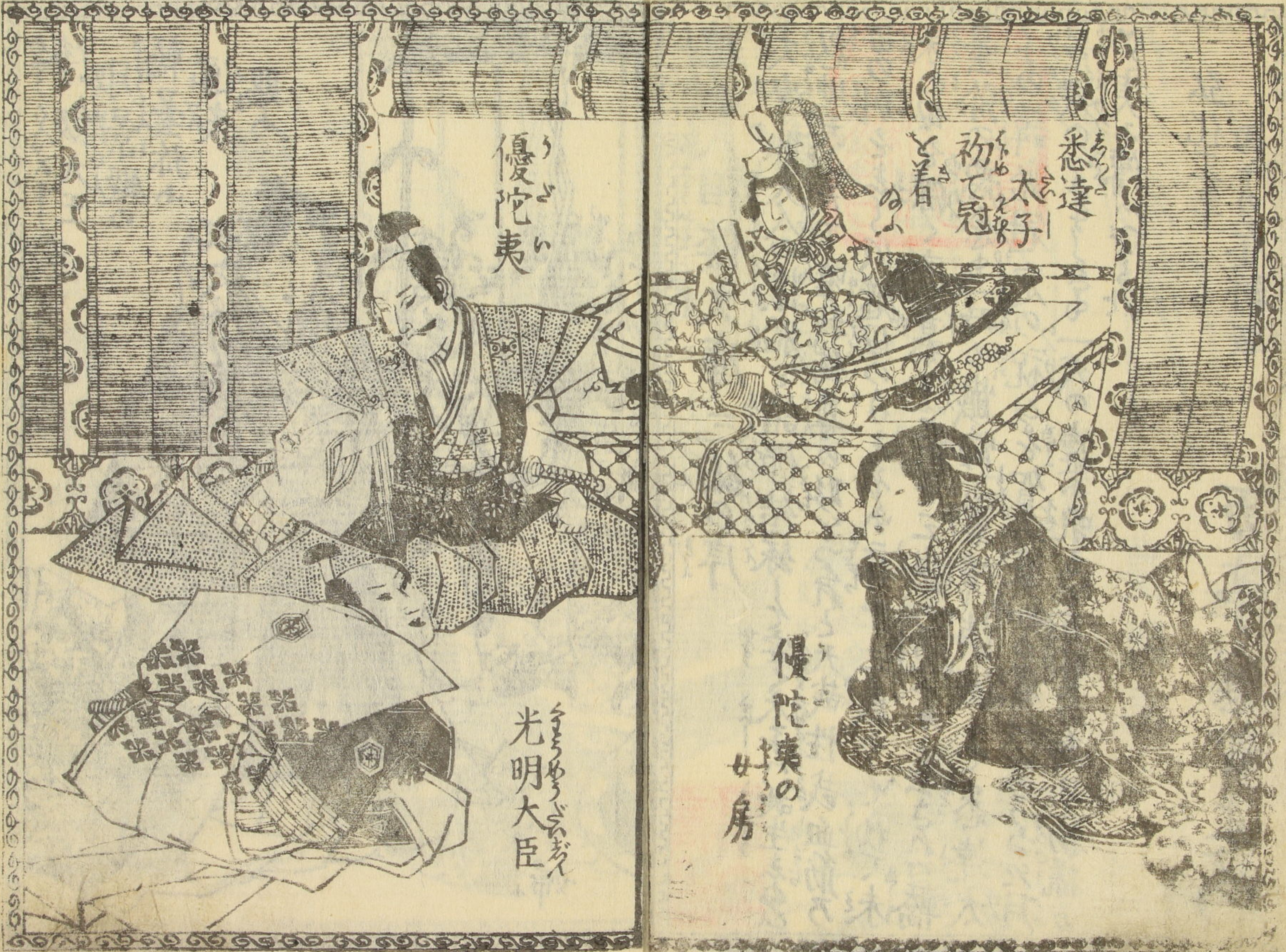


釋迦八相倭文庫三編の序

夫摩耶夫人の懐胎と諸佛結縁と安ん太子の誕生と
怒地夫と夫下唯我獨尊の形とつれと天哉性哉血筋乃
母の罪を深く
未の母を深く
曇伽の無念も一時の懺悔小罪障消滅と悉達太
景殿ののたまふも一犬の虚小吼ると万賢の御見物様方
必実小傳へばらる

弘化三年
丙午の春新版

万亭應賀述



優陀夷

悉達
太子
初て冠
と着

光明大臣

優陀夷の
女房

浄飯大王の
月景殿の
轎曇弥の
通未
賜ふ



命婦

轎曇弥





三はんか
まろやふ
のまはま
あひま
こらうり人
おまのいり

あま
はれみどを
いづれ
まろやふ
あまのいり
こらうり人
おまのいり



あまのいり
まろやふ
のまはま
あひま
こらうり人
おまのいり

あまのいり
まろやふ
のまはま
あひま
こらうり人
おまのいり

何れか... 二

ついでにちりや... 月けのてん... さいふ... ちりや...
 るものか... ちりや... さいふ... ちりや...
 ちりや... さいふ... ちりや... さいふ...
 ちりや... さいふ... ちりや... さいふ...

月けのてん... さいふ... ちりや...
 さいふ... ちりや... さいふ... ちりや...

さいふ... ちりや... さいふ... ちりや...
 さいふ... ちりや... さいふ... ちりや...

ちりや... さいふ... ちりや... さいふ...
 ちりや... さいふ... ちりや... さいふ...
 ちりや... さいふ... ちりや... さいふ...
 ちりや... さいふ... ちりや... さいふ...
 ちりや... さいふ... ちりや... さいふ...



さいふ... ちりや... さいふ... ちりや...
 さいふ... ちりや... さいふ... ちりや...

さいふ... ちりや... さいふ... ちりや...
 さいふ... ちりや... さいふ... ちりや...
 さいふ... ちりや... さいふ... ちりや...
 さいふ... ちりや... さいふ... ちりや...
 さいふ... ちりや... さいふ... ちりや...



さいふ... ちりや... さいふ... ちりや...
 さいふ... ちりや... さいふ... ちりや...
 さいふ... ちりや... さいふ... ちりや...
 さいふ... ちりや... さいふ... ちりや...
 さいふ... ちりや... さいふ... ちりや...

竹下 藤三郎

ありあけの
 らんをわらの
 とまきりま
 ありあけの
 らんをわらの
 とまきりま
 ありあけの
 らんをわらの
 とまきりま

ありあけの
 らんをわらの
 とまきりま

ありあけの
 らんをわらの
 とまきりま

ありあけの
 らんをわらの
 とまきりま

ありあけの
 らんをわらの
 とまきりま

たん千劫
 ありあけの
 らんをわらの
 とまきりま

ありあけの
 らんをわらの
 とまきりま

ありあけの
 らんをわらの
 とまきりま

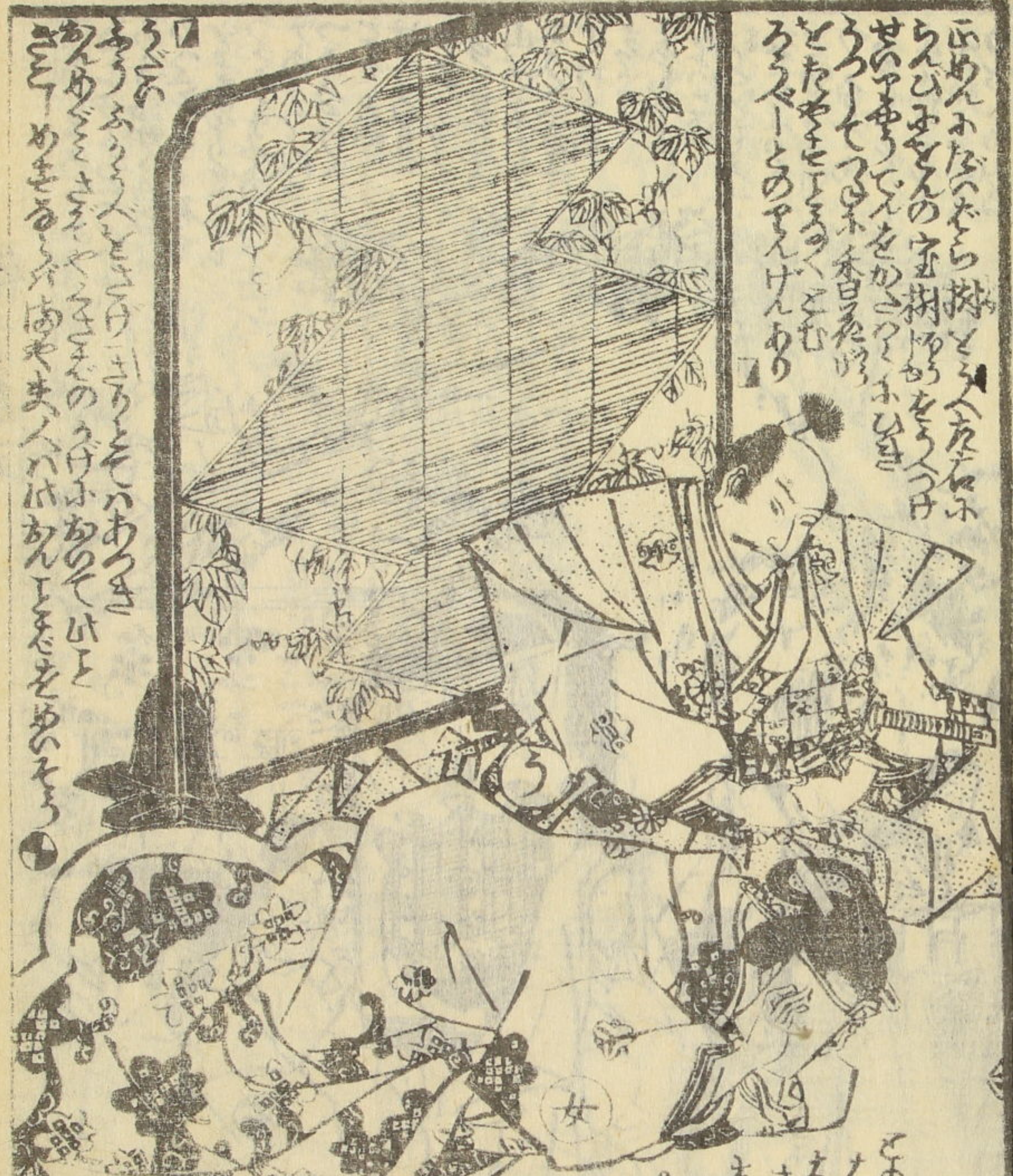
ありあけの
 らんをわらの
 とまきりま

ありあけの
 らんをわらの
 とまきりま

あはれの中よつとぞのあひのま
あはれの中よつとぞのあひのま
あはれの中よつとぞのあひのま
あはれの中よつとぞのあひのま



あはれの中よつとぞのあひのま
あはれの中よつとぞのあひのま
あはれの中よつとぞのあひのま
あはれの中よつとぞのあひのま



あはれの中よつとぞのあひのま
あはれの中よつとぞのあひのま
あはれの中よつとぞのあひのま
あはれの中よつとぞのあひのま

あはれの中よつとぞのあひのま
あはれの中よつとぞのあひのま
あはれの中よつとぞのあひのま
あはれの中よつとぞのあひのま

安政四年丁巳春新板目錄

倭文庫

三七編 三八編 万亭應賀作
三九編 四十編 一陽齋豊國画

重の井菱漆別小紋

七編 八編 為永春水画

昔語小栗實説

二編 三編 同松亭金水画

花山吹百人女郎

初編 二編 同柳亭種彦画

大寶御江戸圖

極上摺奉書六枚半續

常磐津懷中本

初編 二編 三編 四編

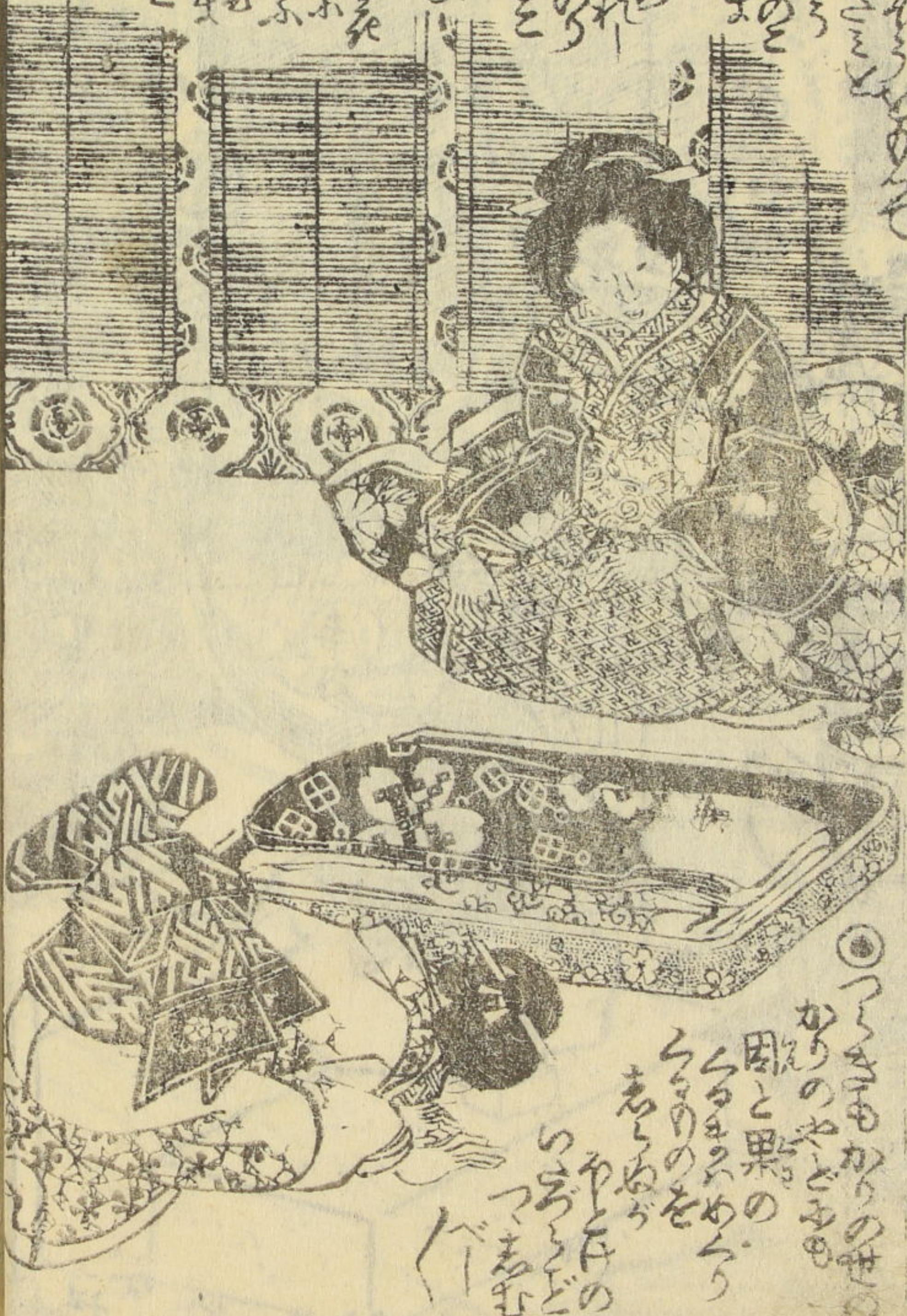
重繪艸紙本類

上州屋重藏

倭文庫

豊國画 應賀作

ついでにこれの人の入る所を
よきふとくし人々のところを
るれめそのやせりぬる
とて下ゆと一月けいでんの
今もこの世の世の世の
それくふあんと
下されせりぬる
せりの世の中い
らむとんい
とめり
るところ
かいらぬら
るるのよ
さあひい
とそれく
兄のその
かこれ
けんあつ
のともた
せこの
なこの
ううか
の
つ
ありとも



ついでに
か
因と果の
ら
ら
ま
や
つ
ま

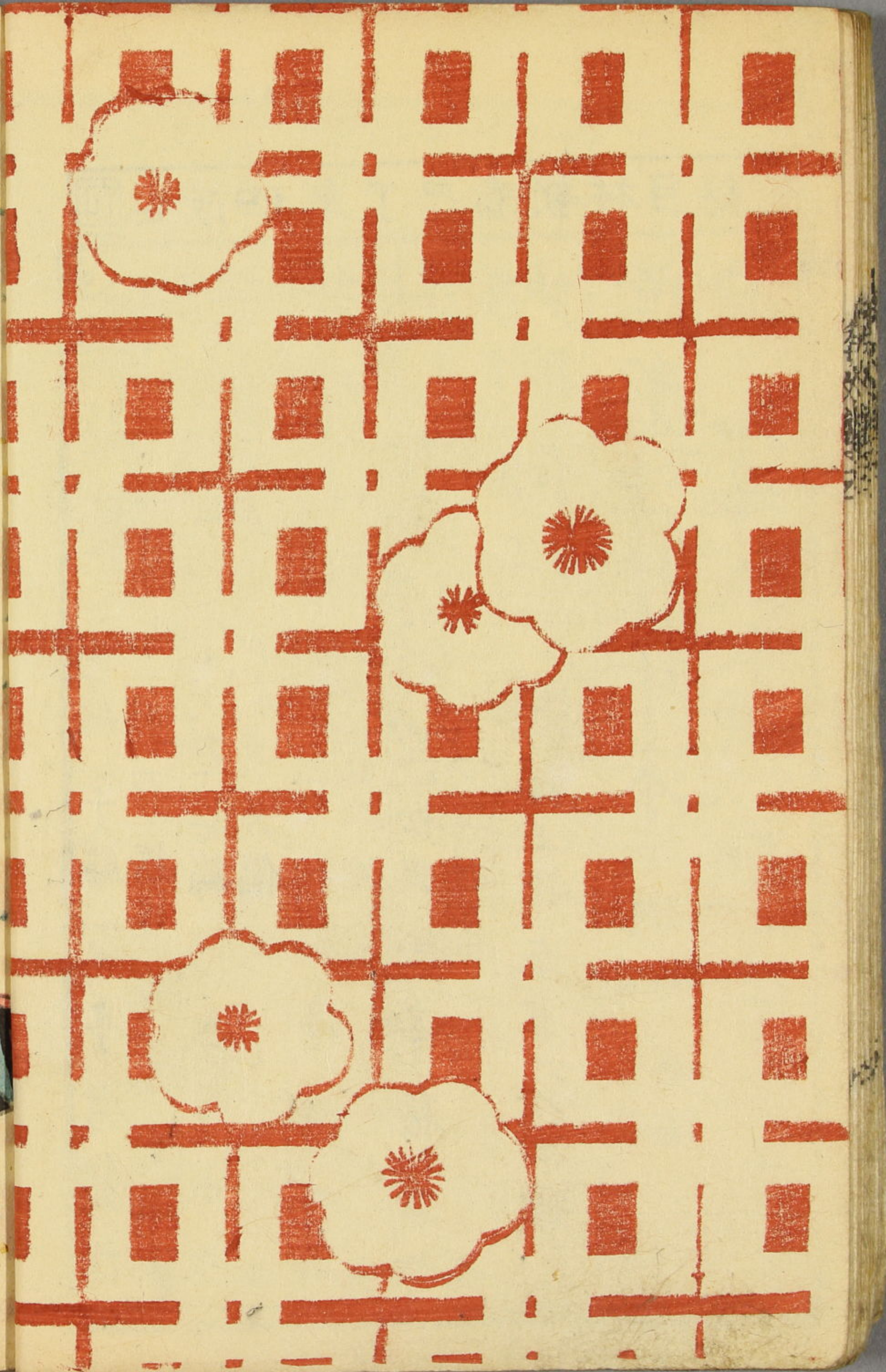
陽齋豊國画

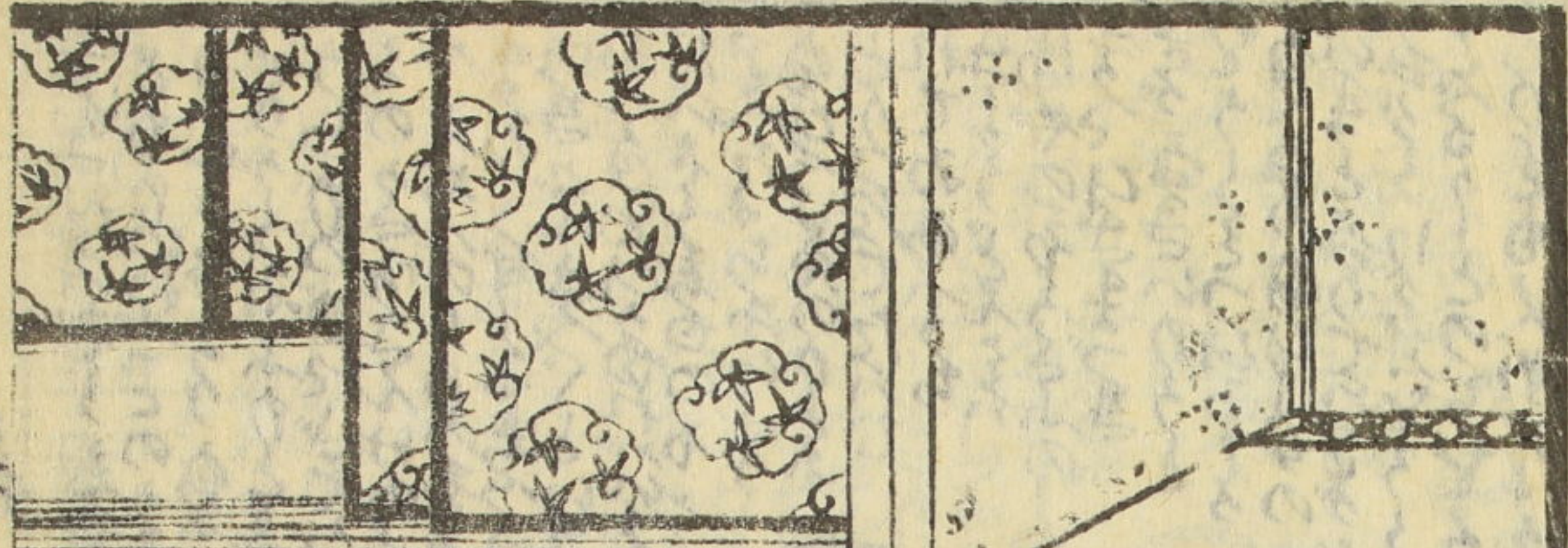


万亭應賀作

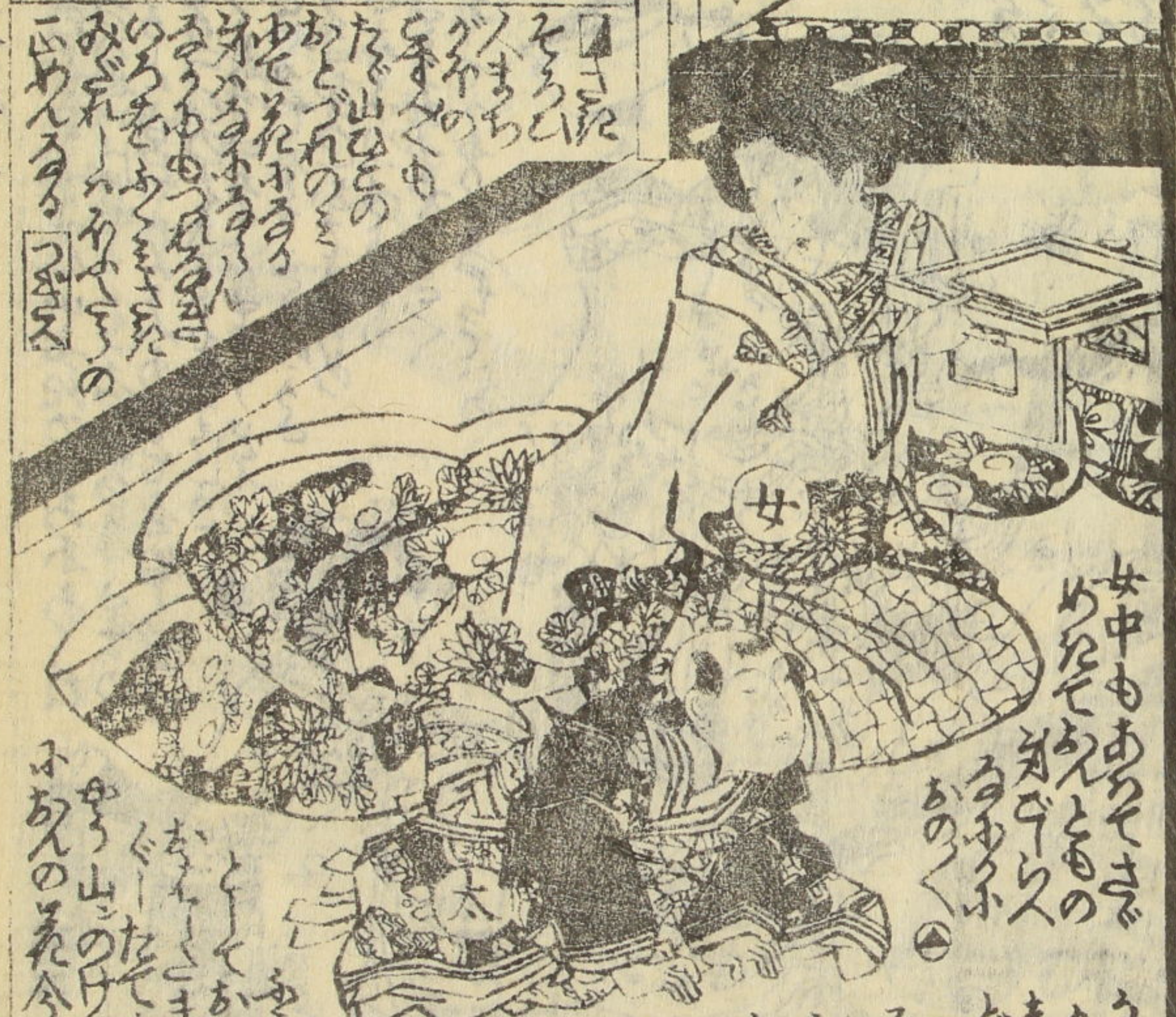
丙午ノ春
新板

下

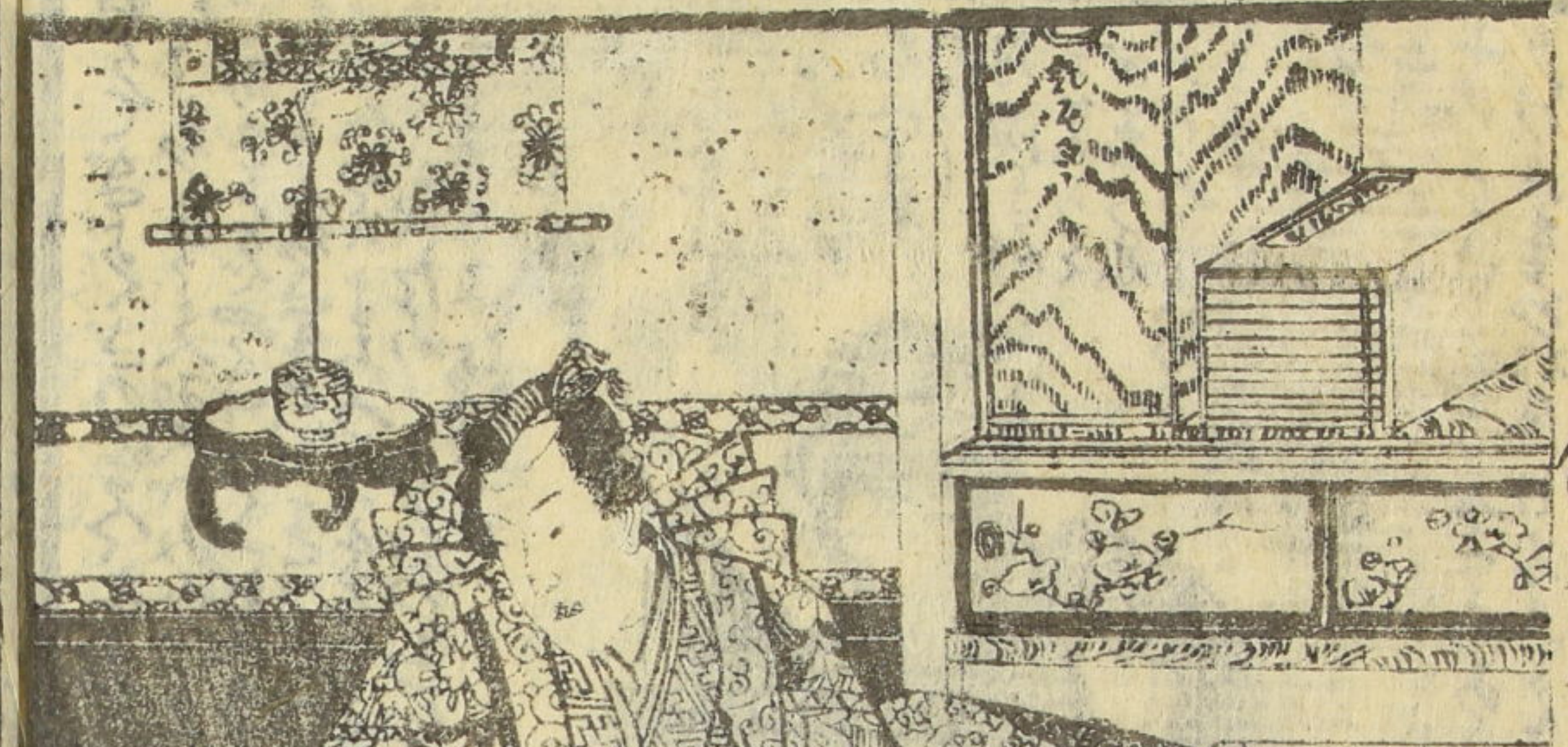




女中もあらたま
 めたてあらまの
 女中もあらたま
 めたてあらまの
 女中もあらたま
 めたてあらまの



女中もあらたま
 めたてあらまの
 女中もあらたま
 めたてあらまの
 女中もあらたま
 めたてあらまの



女中もあらたま
 めたてあらまの



女中もあらたま
 めたてあらまの
 女中もあらたま
 めたてあらまの



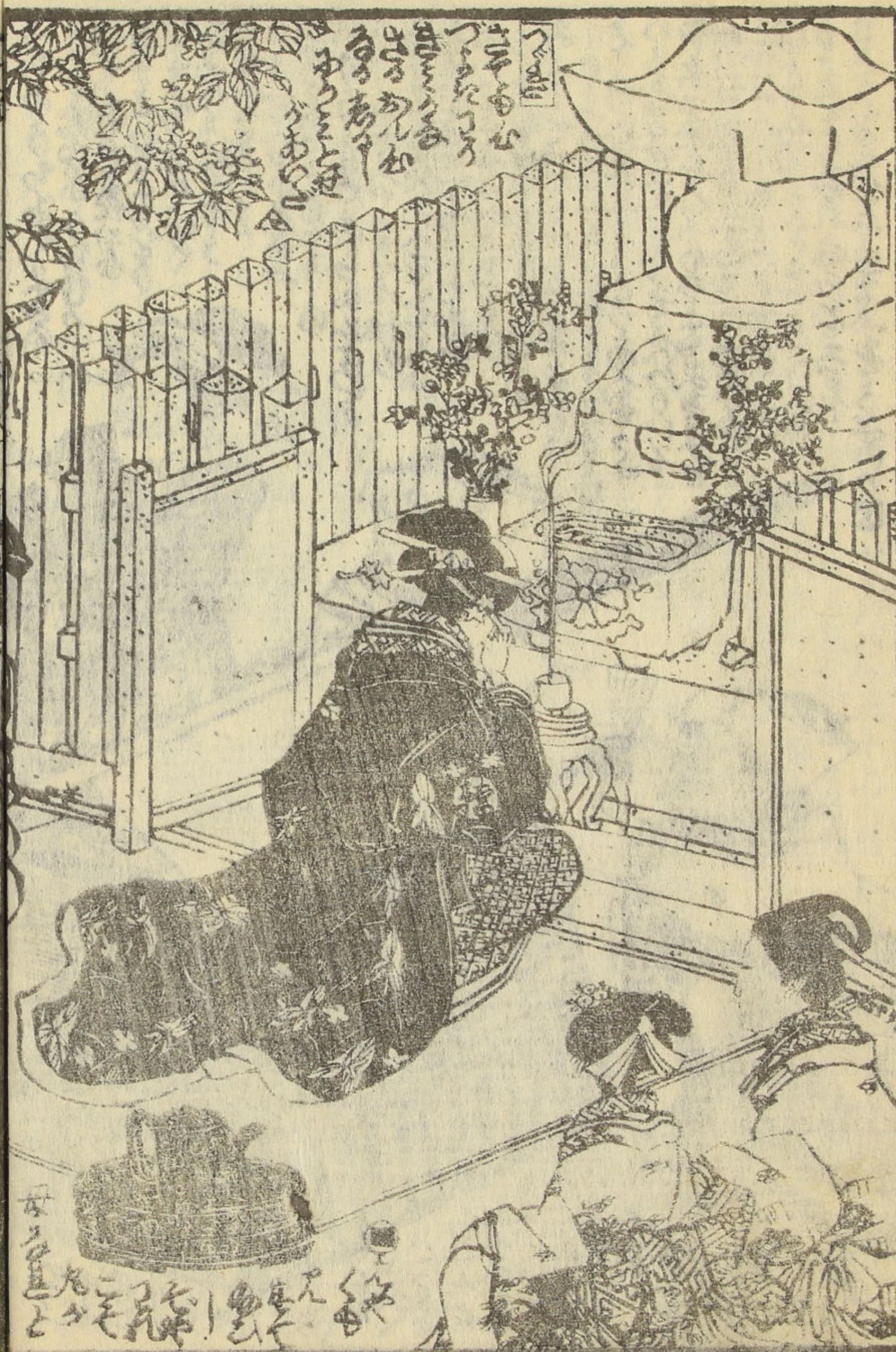
女中もあらたま
 めたてあらまの

母さんといふは...
あんなに...
かきつら...
あんなに...
かきつら...
あんなに...
かきつら...



あんなに...
かきつら...
あんなに...
かきつら...

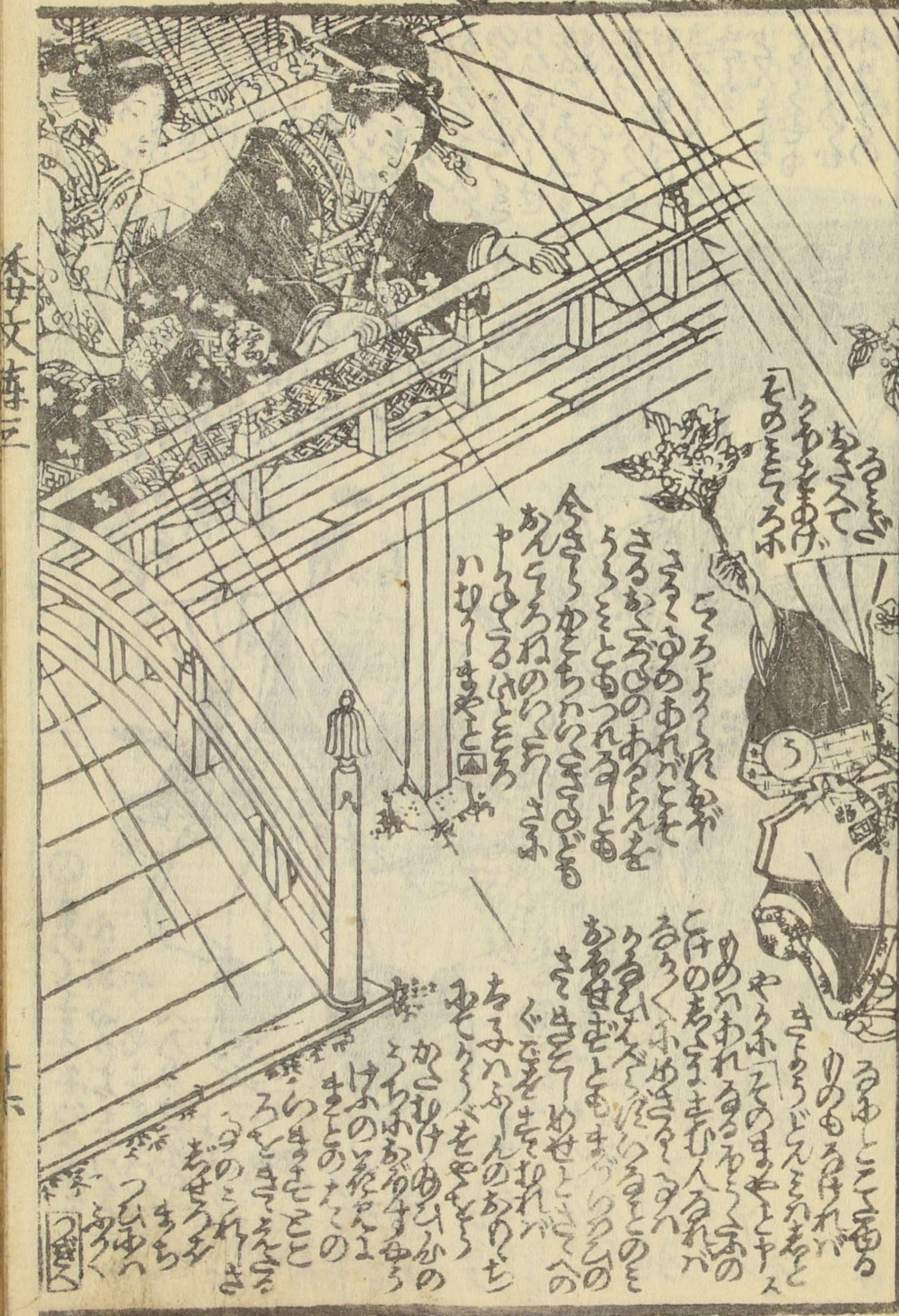
とくくありの...
てきと...
あんなに...
かきつら...
あんなに...
かきつら...



あんなに...
かきつら...
あんなに...
かきつら...

備前

十四



木舟文海

あはれ
うらやまのけ
うらやま

うらやまのあはれを
うらやまのうらやまを
うらやまのうらやまを
うらやまのうらやまを
うらやまのうらやまを

あはれ
あはれ
あはれ
あはれ
あはれ
あはれ



あはれ
あはれ
あはれ
あはれ
あはれ
あはれ

あはれ
あはれ
あはれ
あはれ
あはれ
あはれ

一陽齋豐國画〇万亭應賀作〇

一陽齋豐國画の事
 万亭應賀の事
 此の画は、豊國の筆で、應賀の作である。



安政四年丁巳新春新板目錄

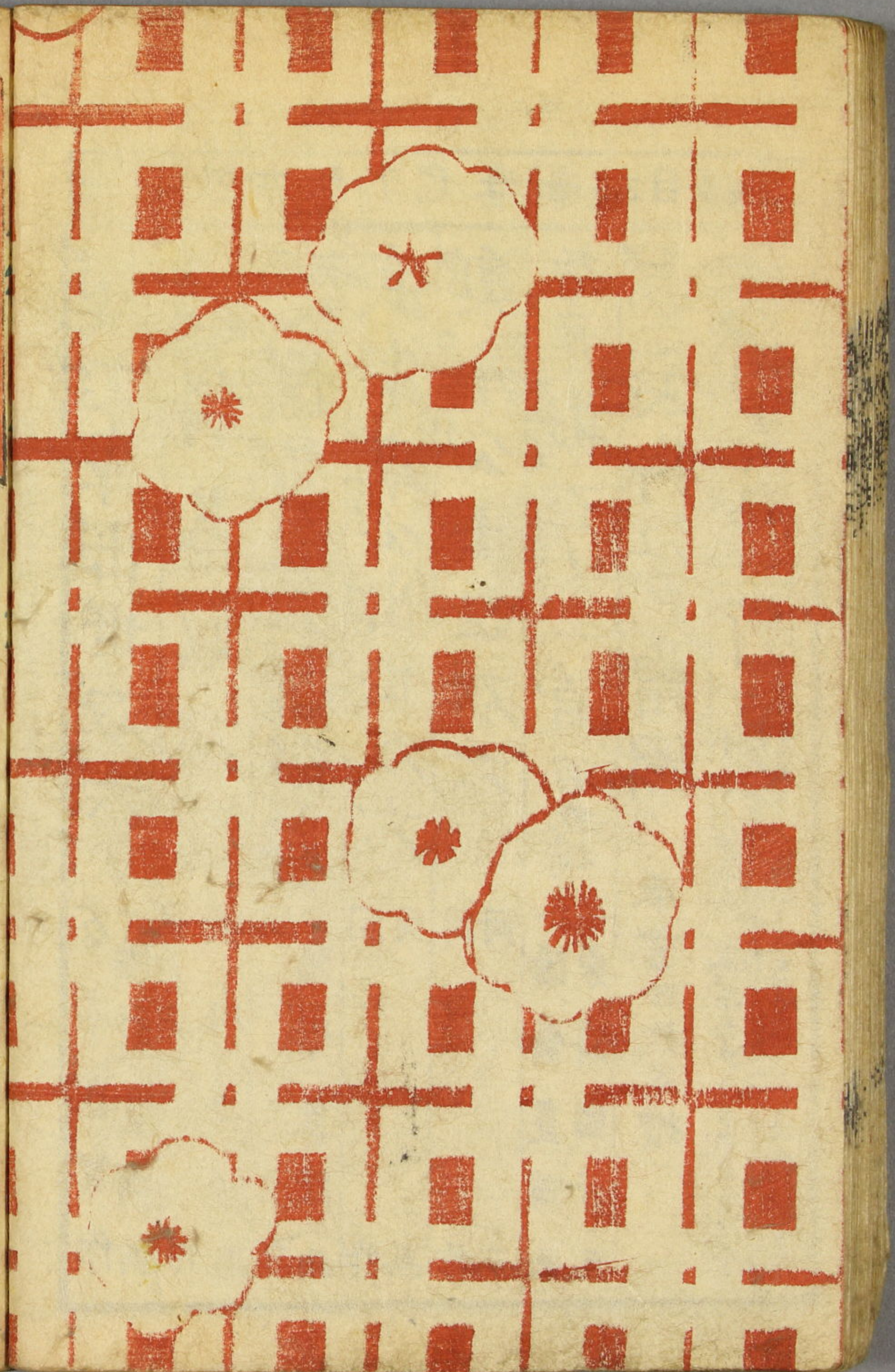
倭文庫出世双六	春遊 将棊双六	男女役替双六	武家奉公出世双六	奥奉公出世双六	極上拵 擬百人一首百枚揃	重榮御江戸繪圖	端唄少少汐の竹
万亭應賀作	同 川貞房作	同 陽齋豊國作	同	同	一陽齋豊國画	奉書四枚半續	

小舟上中下の舟の事を
 ありあるは、此の画は、
 をあるは、此の画は、



万亭應賀作

錦重堂梓



釋迦

八相

倭文庫四編上

春新板

万亭應賀作

陽齋豐國画

上州屋重藏板



尺園

釋迦八相倭文庫四編の叙

夫天の命を以て二五の性理精きと受て生るもの人なり性

理偏氣小埋まそ生るもの畜類也性理幽微るものと受

て生るもの草木也さればその性理の精きと受て生るもの

猶貴賢仙と望太子の流歳七とあて小弓の勝負と勝玉

のひ大悪無双の従弟る搜婆達と拵いけ終ふ射勝玉

ひしより是を提波の意根の始め叔太子九支ふし初字乃

師を鬚頭賢弄の流迂り回る鱗馬虎頭の筆勢皆流

通あるゆえまうとあつるものあやうて冬籠る此草冊子何

卒梅小先立て評判あつんとと其ふと爾云

弘化三年丙午春新版

万亭應賀述





西の大將
小太郎
御歳十五

飯王の
提婆
子



采心連太子御歳
七女あて小弓の
勝負と催し
賜ふ図

悉達太子
東の大將
大太郎

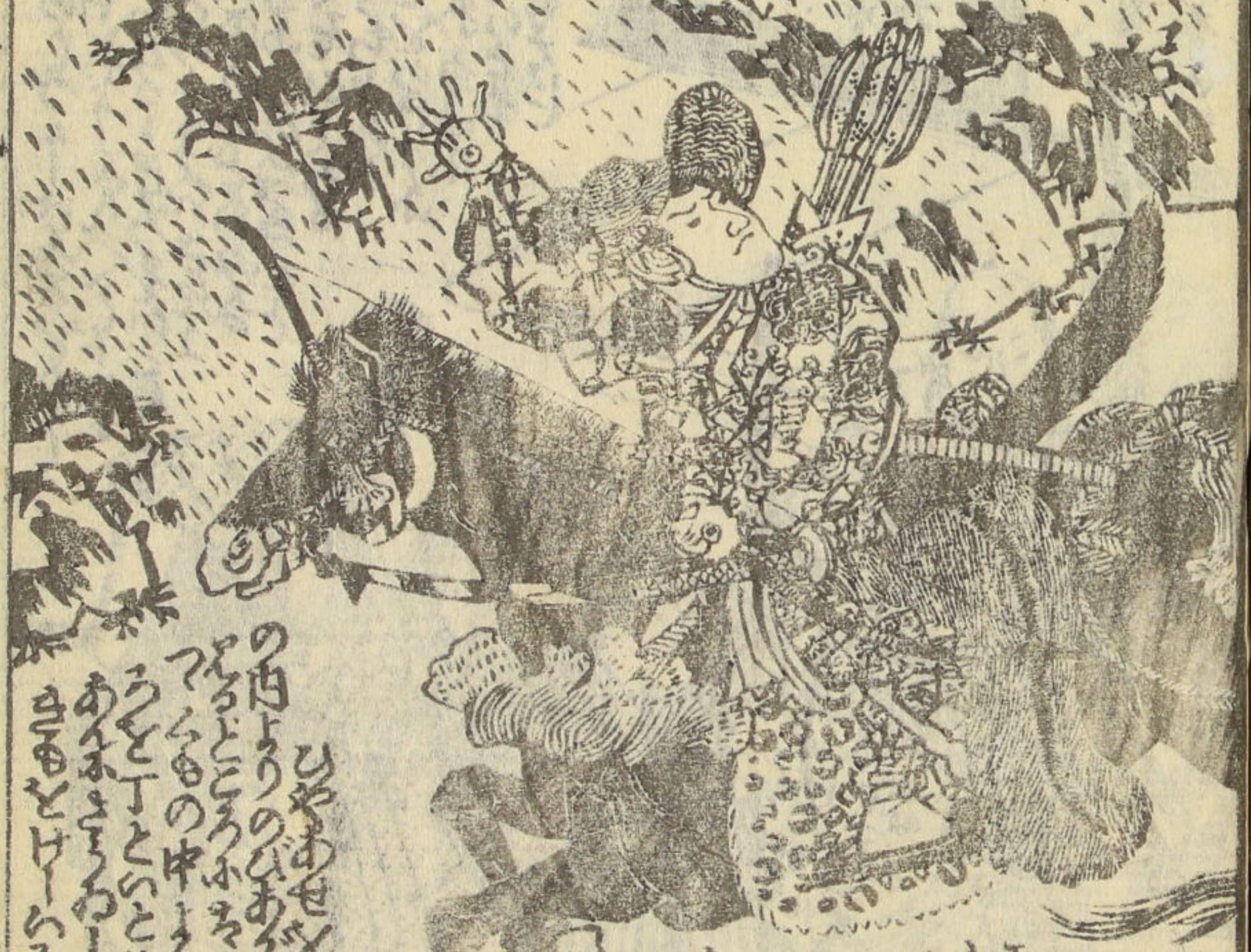


いふ所のけんがうの人びとをいふの事
 本の中よりとよまらうなりだんをこれふきをのりちりあま
 ちのよのちなるを子孫ののちをよりのちりあまの
 とのよとさあつりいとちりあまの天のそれて
 ちのつとまのそとるのよのちのつとまのそとる
 ちのつとまのそとるのよのちのつとまのそとる
 ちのつとまのそとるのよのちのつとまのそとる
 ちのつとまのそとるのよのちのつとまのそとる
 ちのつとまのそとるのよのちのつとまのそとる

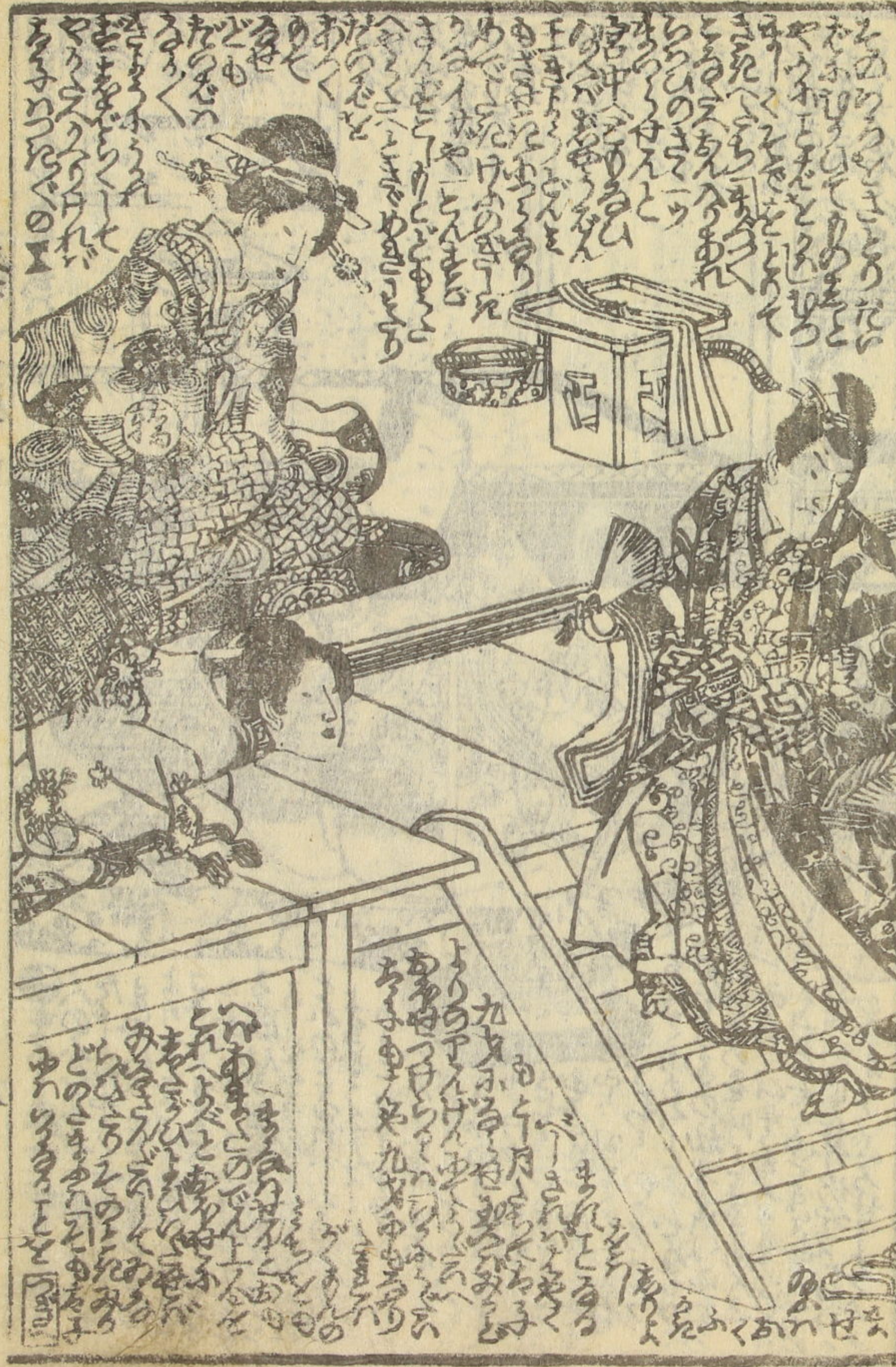


十たのちりあまの
 ちのつとまのそとるのよのちのつとまのそとる
 ちのつとまのそとるのよのちのつとまのそとる
 ちのつとまのそとるのよのちのつとまのそとる
 ちのつとまのそとるのよのちのつとまのそとる
 ちのつとまのそとるのよのちのつとまのそとる
 ちのつとまのそとるのよのちのつとまのそとる
 ちのつとまのそとるのよのちのつとまのそとる
 ちのつとまのそとるのよのちのつとまのそとる
 ちのつとまのそとるのよのちのつとまのそとる

そとるてそとるてそとるて
 だのちのちりあまの
 らのちのちりあまの
 らのちのちりあまの
 らのちのちりあまの
 らのちのちりあまの
 らのちのちりあまの
 らのちのちりあまの
 らのちのちりあまの
 らのちのちりあまの
 らのちのちりあまの



ひあのちりあまの
 の内よりのちりあまの
 の内よりのちりあまの
 の内よりのちりあまの
 の内よりのちりあまの
 の内よりのちりあまの
 の内よりのちりあまの
 の内よりのちりあまの
 の内よりのちりあまの
 の内よりのちりあまの



そのついでに...
おのれ...
あつた...
おのれ...
あつた...
おのれ...
あつた...

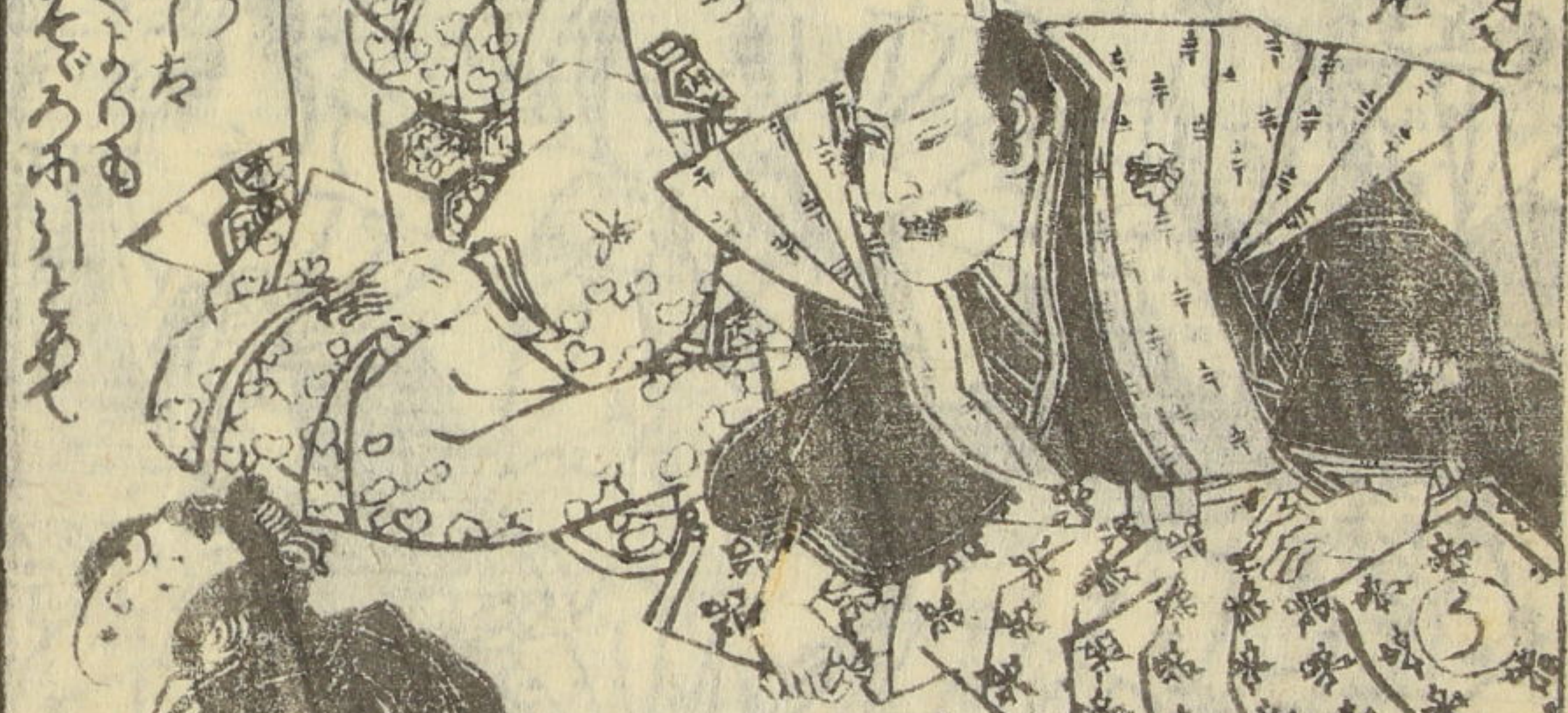
おのれ...
あつた...
おのれ...
あつた...
おのれ...
あつた...



おのれ...
あつた...
おのれ...
あつた...
おのれ...
あつた...

おのれ...
あつた...
おのれ...
あつた...
おのれ...
あつた...

かみぐいといふは天下の...
まはし世とて...
かみぐいといふは天下の...
まはし世とて...
かみぐいといふは天下の...
まはし世とて...



名のれくとまは...
あつとまは...
あつとまは...
あつとまは...

あつとまは...
あつとまは...
あつとまは...
あつとまは...

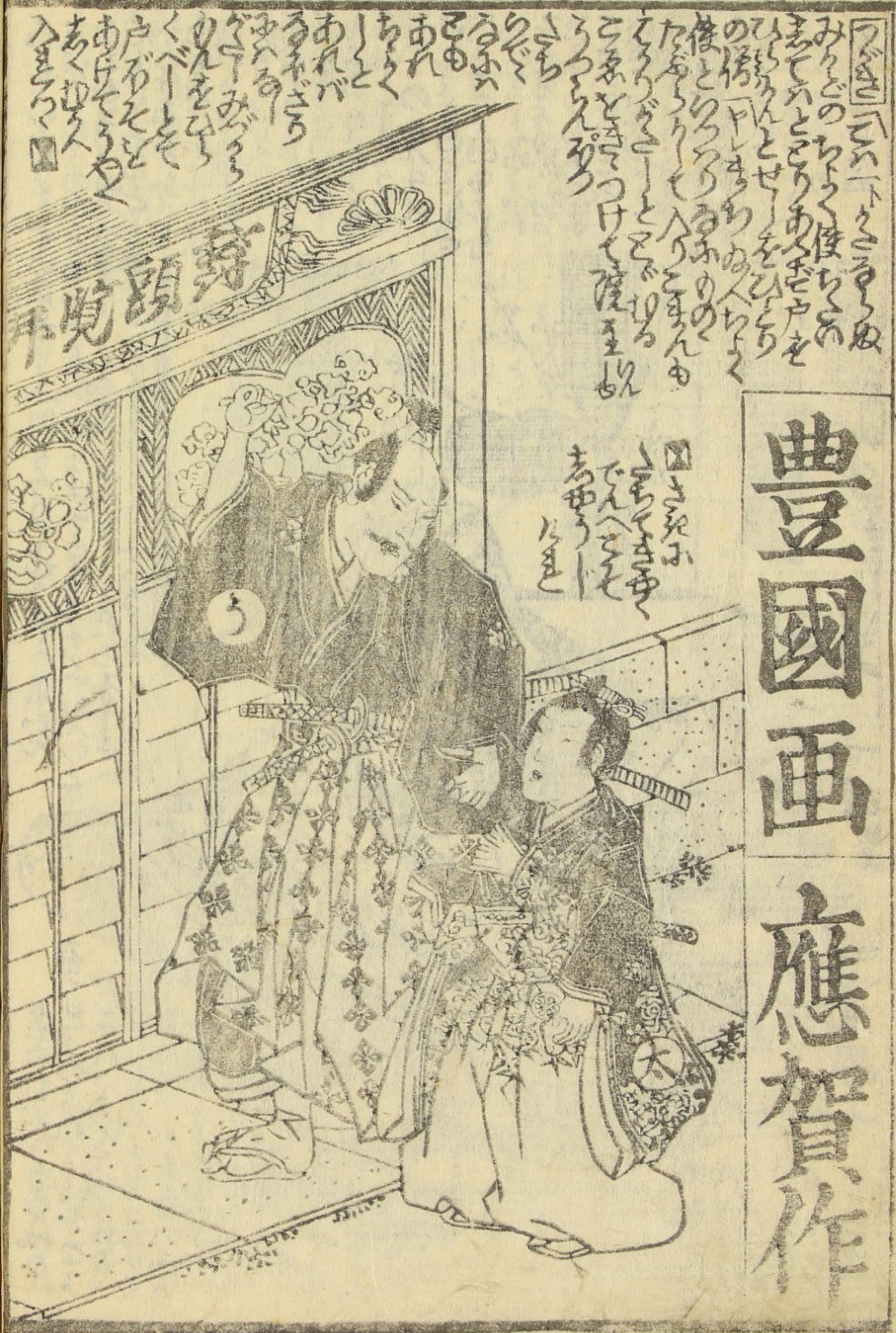


あつとまは...
あつとまは...
あつとまは...
あつとまは...

安政三年丙辰春新板目錄

倭文庫	赤松譚	重井菱	譚柄瑠璃	茶番案文	神代	金本類錦繪
三十四編 三十五編 三十六編 三十七編	九編 十編	六編 七編	四編 五編	全冊	三編 四編	一冊
萬 阜 應 賀 作	如 洲 外 史 作	為 永 春 水 作	西 澤 一 鳳 作	一 勇 齋 國 芳 作	一 勇 齋 國 芳 作	一 勇 齋 國 芳 作

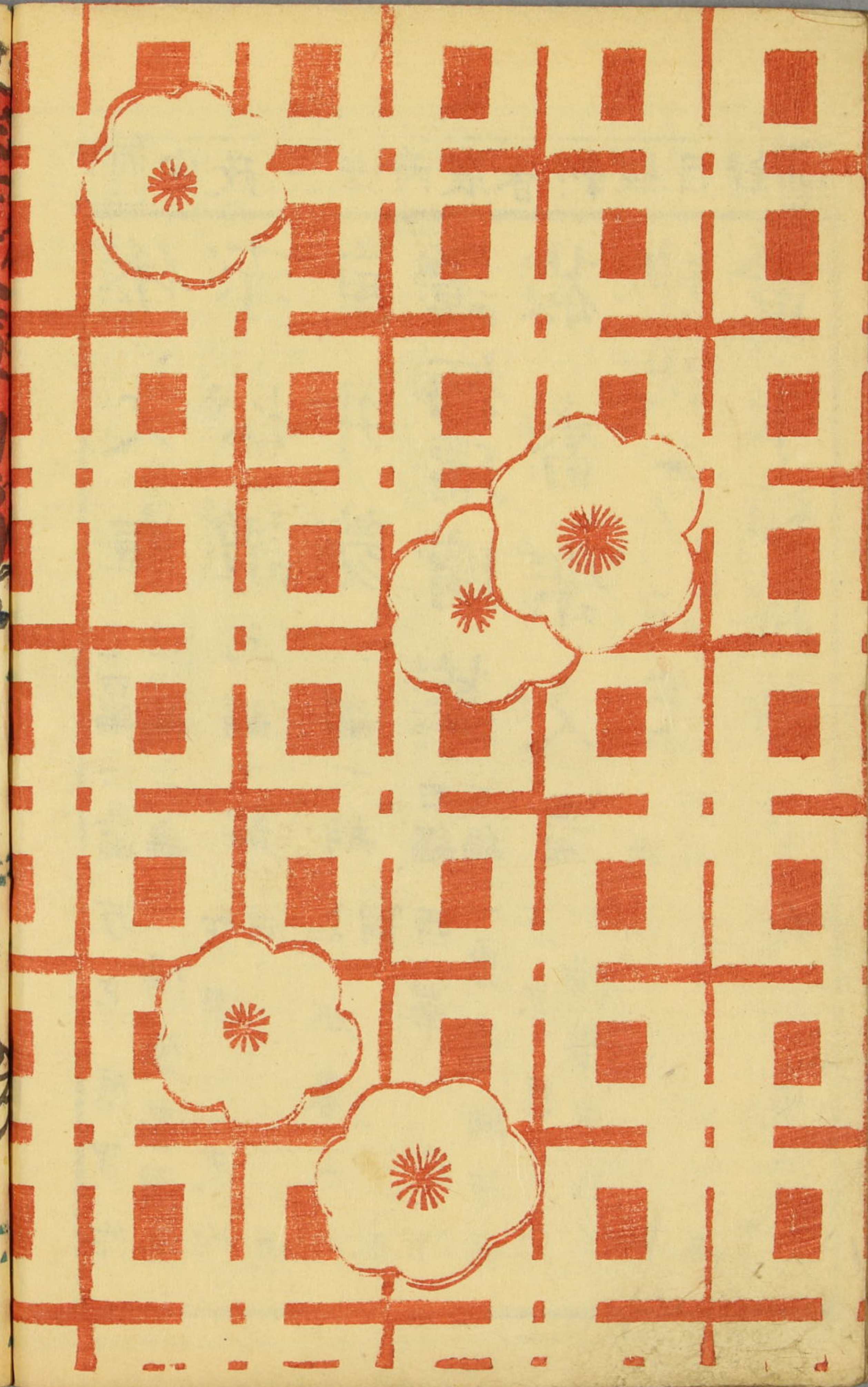
豐國画 應賀作



三陽齋豊國画

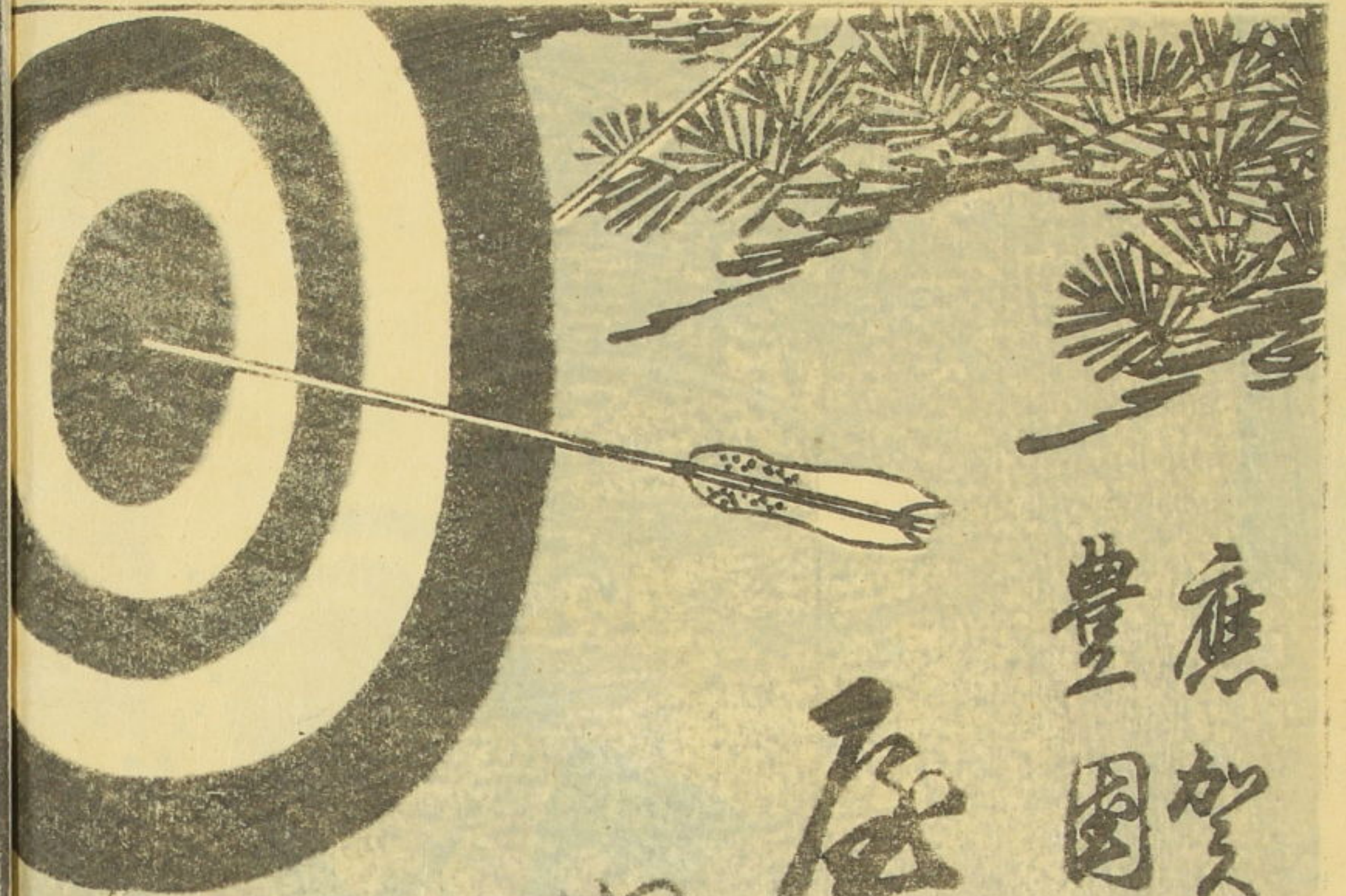


依世文庫四編





水戸人書



豊作
豊園画

夷彩板

匠満心

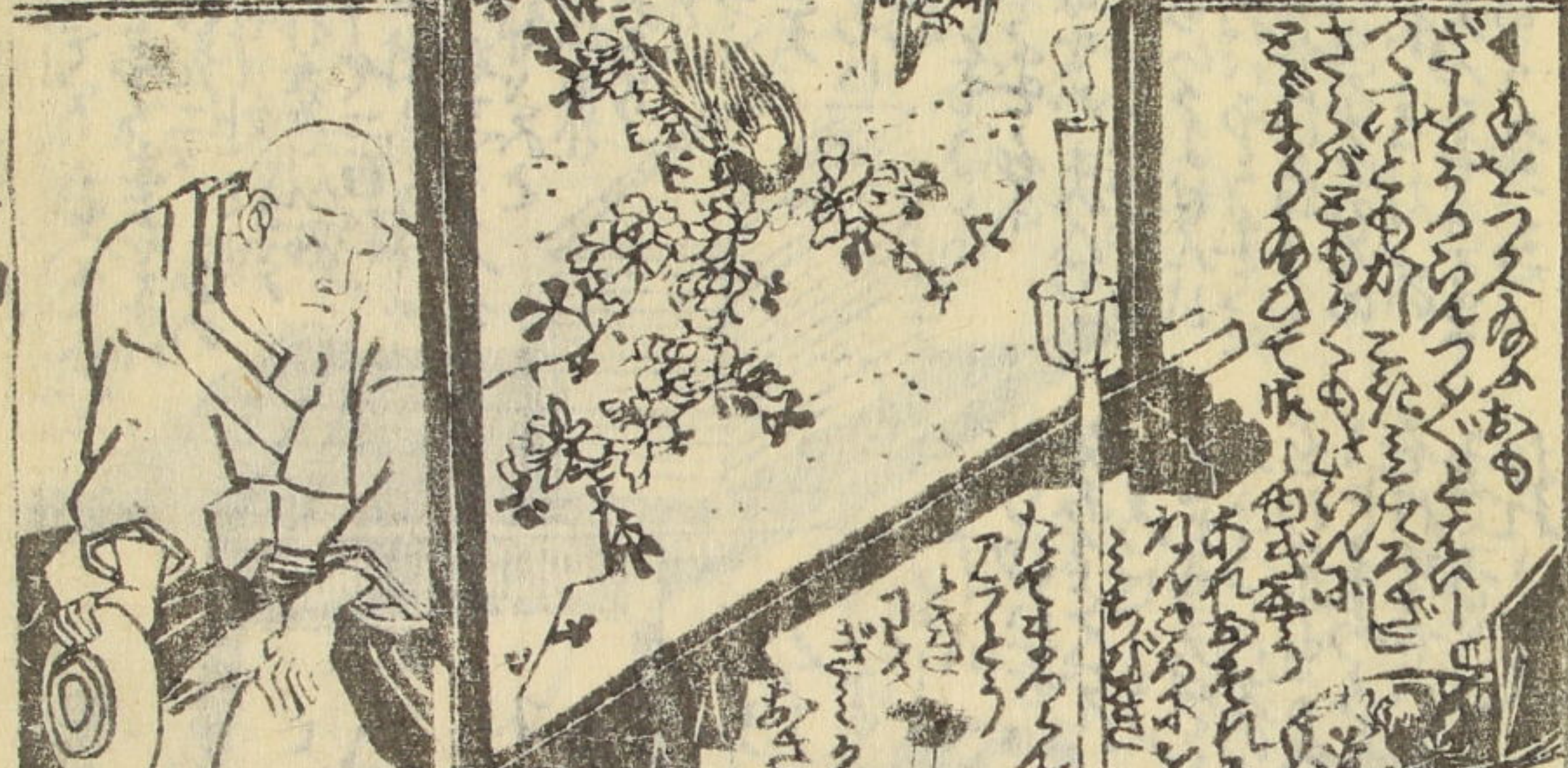
ぬいといひん下

人形町通

上州屋板

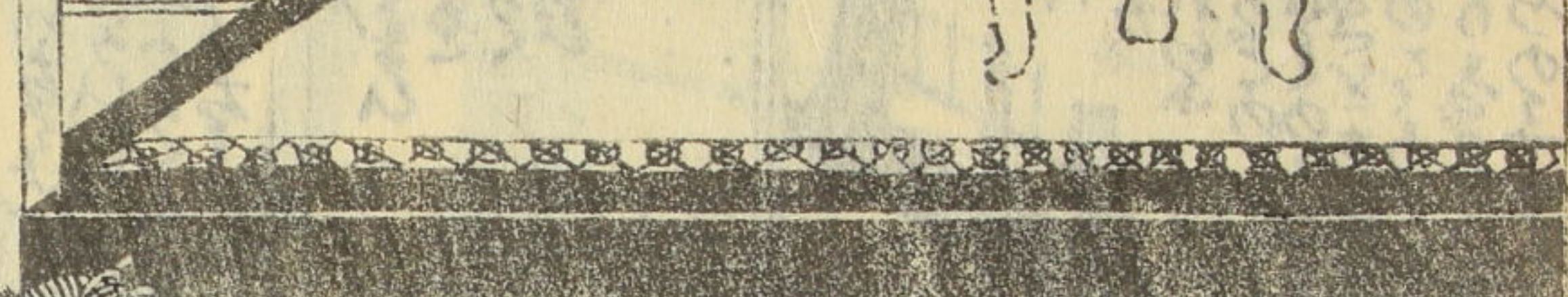
をまひ人
園更色

いひては
いひては
いひては
いひては
いひては



いひては
いひては
いひては
いひては
いひては

いひては
いひては
いひては
いひては
いひては



いひては
いひては
いひては
いひては
いひては

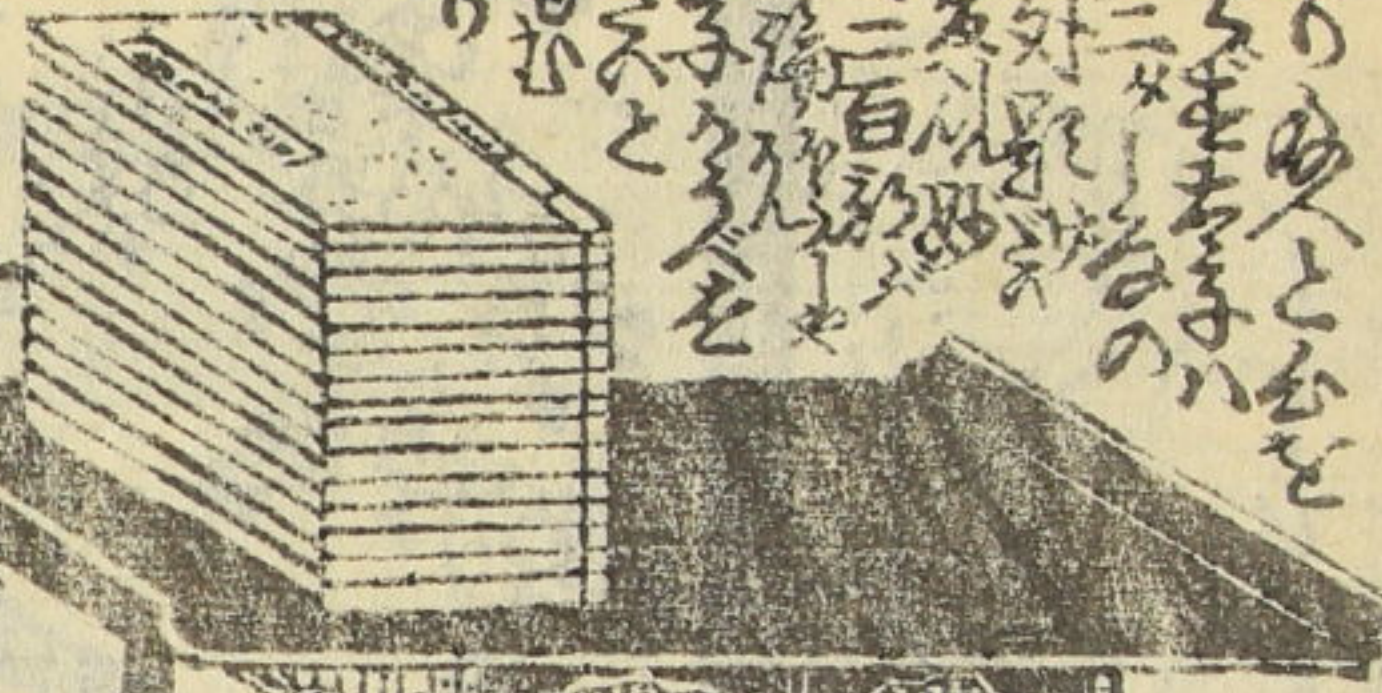


いひては
いひては
いひては
いひては
いひては

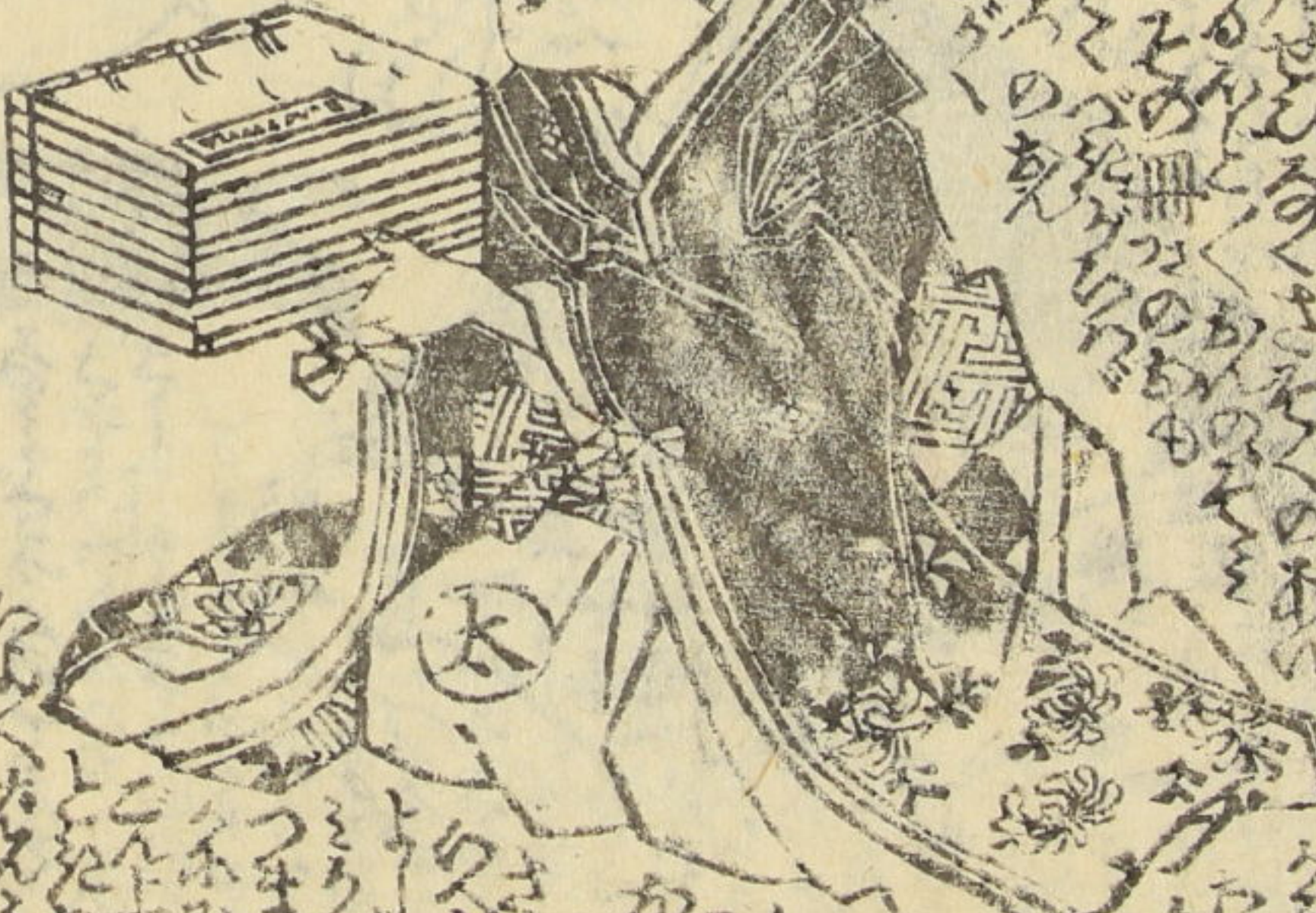
傳文虎四

十一

百部の... ありて... ありて... ありて...



あつた... ありて... ありて...



あつた... ありて... ありて...

百部の... ありて... ありて...



あつた... ありて... ありて...

此の山に人らあはれりて
 日影もさすまらぬとて
 山をまわつてゆく人ら
 此の山に人らあはれりて
 日影もさすまらぬとて
 山をまわつてゆく人ら
 此の山に人らあはれりて
 日影もさすまらぬとて
 山をまわつてゆく人ら



北条の
 名はく
 山はく
 山はく
 山はく

九曲の山に人らあはれりて
 日影もさすまらぬとて
 山をまわつてゆく人ら
 此の山に人らあはれりて
 日影もさすまらぬとて
 山をまわつてゆく人ら



九曲の山に人らあはれりて
 日影もさすまらぬとて
 山をまわつてゆく人ら
 此の山に人らあはれりて
 日影もさすまらぬとて
 山をまわつてゆく人ら



これをいそふぬすま
 いどりのせむとまはんと
 あらすすちあや
 そのあけの
 目も夕全れふ
 のするといふ
 のまもまら
 らしめて
 こせれ
 るるあ
 おれんはよと
 んぐの目とまのびつ
 きてえらうより
 さいちんのもはのり
 さいせふをさあつあ
 ついくのふたうら
 よふふやとこ入
 ちうてふく
 志のびんかのみ
 さくちりさく
 のちのふけさ
 あらうを
 あらうを
 あらうを
 ○あまのあやせと

大正七年四月



ついで
 たち
 ひそひ
 ひんをまのび
 入りてのちの
 のひまふま
 つくちひしり
 さく信どもの
 さいハハとく
 志のびんかのみ
 えのまふた
 のあえこれと
 たるりなるこ
 むれれいせん
 るるこ
 りゆ
 るはのれ
 下ひりてけ
 志のびんかのみ
 えのまふた
 のあえこれと
 たるりなるこ
 むれれいせん
 るるこ
 りゆ

志のびんかのみ
 えのまふた
 のあえこれと
 たるりなるこ
 むれれいせん
 るるこ
 りゆ

大正七年四月

十七



あつてはさういふことかへそのつらさをわらわす
てあつてはさういふことかへそのつらさをわらわす
てあつてはさういふことかへそのつらさをわらわす

あつてはさういふことかへそのつらさをわらわす
てあつてはさういふことかへそのつらさをわらわす
てあつてはさういふことかへそのつらさをわらわす



あつてはさういふことかへそのつらさをわらわす
てあつてはさういふことかへそのつらさをわらわす
てあつてはさういふことかへそのつらさをわらわす

あつてはさういふことかへそのつらさをわらわす
てあつてはさういふことかへそのつらさをわらわす
てあつてはさういふことかへそのつらさをわらわす

一陽齋豊國画○万亭應賀作○

此画は豊國の
手筆に應賀は
其の師也



此の畫は豊國の筆に應賀の師也
豊國の畫は應賀の師也
應賀の畫は豊國の師也
此の畫は豊國の筆に應賀の師也
豊國の畫は應賀の師也
應賀の畫は豊國の師也



五編六八七八九

板元

安政三年丙辰春新板目錄

倭文庫出世双六 万亭應賀作

春の将棊双六 同 歌川貞房画

男女役替双六 同 一陽齋豊國画

大寶御江戸圖 極上摺 奉書六枚半續 出板

清元稽古本 初編 二編 出板

常磐津懷中本 初編 二編 追出板仕

極上摺 擬百人一首 陽齋豊國合

